

**農業データの利活用促進に向けた  
取組状況について**

**令和2年1月31日  
農林水産省**

# データを活用した農業の将来像

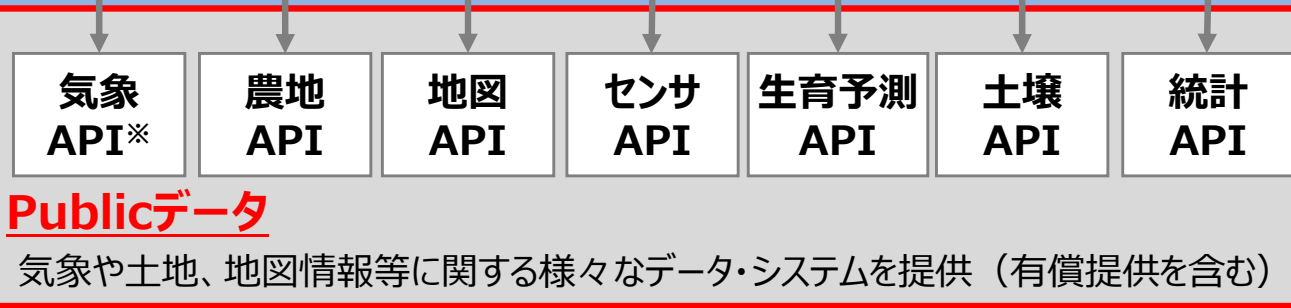
○農業現場における生産性を飛躍的に高めるためには、データをフル活用できる環境を整備することが不可欠。



# 農業データ利活用に向けた環境整備(農業データ連携基盤「WAGRI」)

- WAGRIは、農業ICTサービスを提供する**民間企業の協調領域**として構築。2019年4月から農研機構が運営主体として運用を開始。
- WAGRIを通じた**気象や農地、地図情報等のデータ・システム**の活用や、**システム間連携を円滑にするマスターデータ**の活用によって、民間企業が行う**サービスの充実や新たなサービスの創出を促す**ことで、**農業者等が様々なサービスを選択・活用**できるようになる。

データ・システム提供者



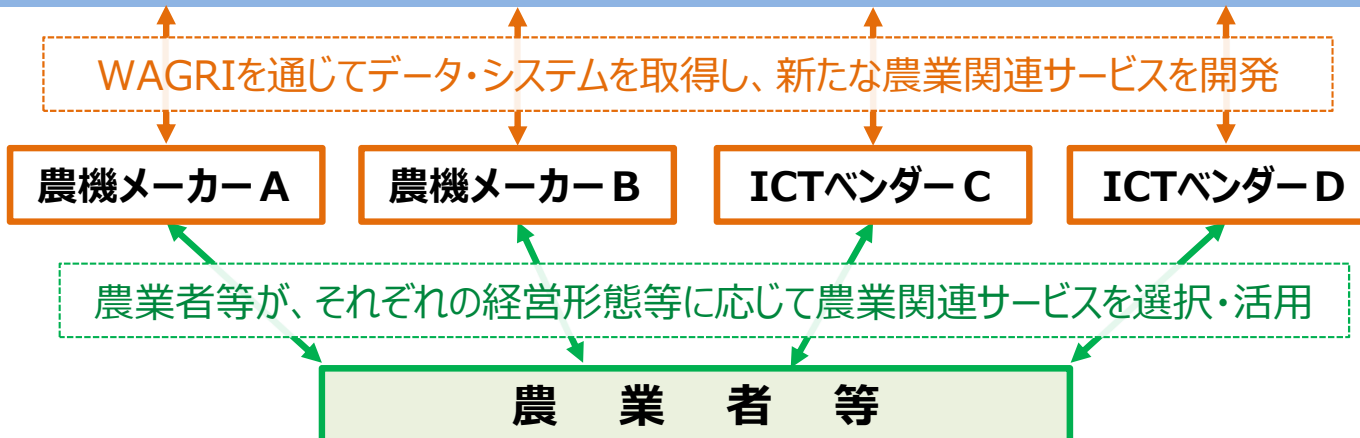
**マスターデータ**  
システム間で連携しやすいよう、農業関係の語彙や単位などを統一化するためのデータセット。

**Privateデータ**  
農業者個人が安全に自分のデータを保存・管理



## 農業データ連携基盤 (WAGRI)

データ・システム利用者



※Application Programming Interface の略。複数のアプリケーション等を接続 (連携) するために必要なプログラムを定めた規約のこと。

# 民間企業等によるWAGRIの活用状況

- 運用開始以降、着実に利用者数が増加し、2020年1月現在、**約40の民間企業等が利用**。
- 複数の企業が**WAGRIを活用したサービス**を展開。

## WAGRIによる新たなソリューション

NECソリューションイノベータ  
(株)

JAや普及員などの営農指導者向けの「NEC 営農指導支援システム」で**WAGRI上の農地区画データや農薬データを活用**し、農薬散布等の作業をほ場毎にきめ細かく管理できるよう改善。

(株)ビジョンテック

栽培管理システム「AgriLook」で**WAGRI上の生育予測モデルと気象データを自社の衛星画像と連携**させ、作業時期の最適化や、生育ステージに応じた施肥や収穫、病害虫対策等をきめ細かくできるよう改良。

(株)テラスマイル

様々なシステムを使用している農業者が適切な経営診断を受けられるよう、**WAGRI上のマスターデータを採用**し、自社の農業経営分析サービス「RightARM」と他企業とのシステム連携を円滑化。

# スマート農業実証プロジェクトにおけるデータ連携の取組

- 先端技術を農業現場に導入し、技術的・経営的な効果を実証する「スマート農業実証プロジェクト」が昨年からは全国69地区でスタート。
- この中で、**農業者の作業計画や経営状況を一元的に管理するシステム開発**に複数地区で取組中。

(株) 若狭の恵 (福井県小浜市)

～中山間地域におけるデータをフル活用した未来型大規模水田作モデルの実証～

【実証内容 (データ連携部分)】

- 異なるメーカーの農機であっても、営農データと合わせて**農業者が一元管理・利用することができるよう、農機で収集したデータをウォーターセル(株)の営農管理システム「アグリノート」に集約。**



ロボットトラクタ  
(ヤンマーアグリ)



直進キープ田植機  
(ヤンマーアグリ)



可変施肥田植機  
(井関農機)



食味収量測定コンバイン  
(クボタ)

SMARTASSIST

次世代サービスシステム

AGRISUPPORT

農業を新たなステージへ  
The next stage of the agriculture

KSAS  
KUBOTA Smart Agri System

agri-note

営農管理システム「アグリノート」  
(ウォーターセル)

農 業 者

# 農業データの利活用に向けた今後の取組

○ 農業者にとってより良いデータ活用の環境整備に向けて、企業間のデータ連携等を促進。

## 課題

- ICTベンダーからの意見  
市況データなどの統計データをWAGRIから引き出せるとよい。他のベンダーが使い始めるまで様子見。  
→データの充実、訴求力のあるキラーコンテンツが必要。
- 農業者からの意見  
一つのシステムで他のシステムのデータを自由に閲覧・加工・活用できるようにしたい。  
→農機メーカーをはじめ、企業間連携やデータポータビリティの意識醸成が必要。

## 今後の取組

- 国の統計データやスマート農業実証プロジェクトで収集するデータ等を実装する。
- 病害虫診断システム等の農研機構の研究成果を早期実装する。
- スマート農業実証プロジェクトの中で企業間のデータ連携を推進し、WAGRIを活用した取組を進める。

# 農業分野におけるデータ契約ガイドライン

- 農業データの提供・利用に関する明確なルールが存在していないことや、データの流出がノウハウ・技術の流出につながるおそれ等の懸念が、**農業者によるデータ利活用に際しての足かせとなっている**。
- 農業分野におけるデータ利活用の促進、それを通じた生産性や品質の向上を実現するため、平成30年12月に「**農業分野におけるデータ契約ガイドライン**」を策定した。

